



# Oasis meets Books

オアシス・ミーツ・ブックス

本のあるオアシス 本のある人生

2019年10月 vol.7

教育委員会では年2回、話題作・受賞作や皆様からのリクエスト、そしてこの「OmB」での紹介を元に購入希望の本を選定しています。近々配置しますので、ブログにてご案内いたします。

また、このペーパーへの感想をいただき、委員会メンバー一同嬉しく思っています(^^)

## 深夜特急 / 沢木 耕太郎

グループホーム オアシス平野 / 介護士 丸田 哲也

大学時代に読んだこの本で僕の人生は大きく変わりました。乗り合いバスを乗り継いでユーラシア大陸を横断するこのルポルタージュに魅せられて、ぼく自身も20代にバックパッカーになり、ユーラシア横断の旅に出ました。その旅で出会った人々や出来事の数々が今も胸に残っています。



ミャンマーの古都の仏塔の上で「君たちは自由でいいね。俺達は軍事政権の下、行きたい学校すら選べないんだ」と言っていた青年。ラオスの祭りまで宿がどこもいっばいで途方に暮れていた僕を、自分の家に泊めてくれた家族。ネパールで物を盗まれて盗難届を出している時に、カメラをくれとねだる警察官。ガンジス川の川辺で火葬されたり、祈りをささげている人の中で、自分の母親の売春を斡旋する子供たち。チベットのポタラ宮で子供の頃のダライラマの写真を手に当時のチベットの状況を語ってくれた青年…

いろんなことがこの本を読み返すとき思い出され、また旅の空の下にいるような気がしてきます。



・次回⇒グループホーム オアシス平野 / 介護士 長ゆかり

## みそ汁はおかずです / 瀬尾 幸子

デイサービス オアシスキズリ / 介護士 古本 歩

書店でばっと目を引いたタイトルで、具たくさん汁物大好きな私にぴったり!と思わず手に取りました。



いろいろな具材の組み合わせのみそ汁が載っているレシピ本で、バラバラと見ているだけでも参考になります。レシピ本といっても、みそ汁の手順なんて『切る→煮る→味噌を溶く』が基本のシンプルな手順なので、すごく簡単。『白菜+油揚げ』等定番の組み合わせから『じゃがいも+玉ねぎ+バター+カレー粉』（←これおいしかった）、『豆苗+ごま油』のような、一見『大丈夫?』みたいな具材まで。また、載っているみそ汁の写真がとっても美味しそうで、読んでるとわくわくします。

発酵食品である味噌は身体を中から温める健康食品ですよ。これからもいろんな『おかずみそ汁』で栄養をとって、毎日元気100倍で頑張りたいなあと思います。



・次回⇒デイサービス オアシスキズリ / 介護士 皆村 竜子

## 人生はニャンとかなる! / 水野 敬也

老健 事務管理課 / 事務 古畑 拓也

人生は苦しいことや辛いことが圧倒的に多いものです。様々な難局を乗り切るために、誰も人生で勇気づけられる大切な言葉、一步を踏み出せるヒントとなる好きな言葉があると思います。しかし、そういう言葉を紙に書く、声に出すことは少し恥ずかしさが…



そこで紹介したい本が、タイトル「人生はニャンとかなる!」。動物のあり様、見たままを感じるままに、人生を何とかして来た「偉人の名言」と「猫の写真」をつなぎ合わせ教訓文章にこじつけた本です。ある意味、日めくりの人生訓みたいなものです。

可愛い猫の写真に人生で大切な言葉を載せていますので、深く読み解く必要もなく、難しく考えすぎないで軽く自分の感性で感じ、口角筋をあげて、大きく深呼吸して、遊び心を忘れずニマリとした笑顔で読んでみてください。今の自分が必要としているヒントに出会えるかと思えます。

人生で少し迷ったあなた、手軽に手に取って、読み込まないで、とりあえず軽くご覧ください。あら不思議、元気が出そうな感じがします。(あくまでも個人的感想です。元気が出ると保証したものではありませんよ)。



・次回⇒老健 オアシス 入所介護 / 介護士 井上 君子

## 大家さんと僕 / 矢部 太郎

介護支援センター オアシス 地下鉄平野駅前 / ケアマネジャー 三坂 有加子

ずーっと書店に並んでいて気になっていた『大家さんと僕』。2018年4月には芸人として初、プロの漫画家以外でも初となる朝日新聞社主催『手塚治虫文化賞 短編賞』を受賞、またロングセラー作品で、登場人物のモデル、大家のおばあさんが亡くなったというニュースを聞いて購入しました。芸人の矢部太郎さんと一風変わった大家のおばあさんと二人暮らしの交流を描いた泣き笑い、奇跡の実話の漫画です。



新宿区にある一軒家の二階にはお笑い芸人カラテカの矢部太郎さんが、階下には大家の87歳のおばあさんが暮らしています。大家のおばあさんの挨拶は「こきげんよう」で、好きなタイプはマッカーサー元帥(渋い!)、牛丼もハンバーガーも食べたことがなくて、矢部太郎さんのことを俳優と勘違いされています。大家さんの暮らしぶり時代離れしていますが、矢部太郎さんは違和感なく馴染んでいます。お互いがお互いをとても大事に思っているのが伝わり、大家さんや矢部さんの人柄、光景が目には浮かぶようです。絵の感じもほんわか癒され、笑いの中にもほっこりさせられ、優しい気持ちにしてくれます。交流に年齢は関係なく、自分の今までの人との接し方を振り返ることができる作品でした。



・次回⇒介護支援センター オアシス長瀬 / ケアマネジャー 横川 久美子

## 毛玉なカラカル / あいなつ

### デイサービス オアシス長瀬 / 介護士 中島 奈津子



Instagramに投稿され、とても人気になったため書籍化された4コマ漫画です。私もInstagramから偶然流れてきたものを何となく読んでいたうちにすっかりはまってしまった一人です。



アフリカから日本にやって来た野生ネコの「カラカル」は言葉をしゃべり、フワフワと空を飛べる変な生き物。その非現実的な生き物が居酒屋やデイサービスでアルバイトをしたり、スーパーで買い物をしたりと現実的な何気ない日常を送る様子が描かれています。

カラカルを取り巻く登場人物も人間味がある、前向き思考の優しい人しか出てきません。カラカルへの思いやりが詰まったエピソードがたくさんで、クスクスと笑えてほっこりとした気持ちにしてくれます。

心が疲れている時、すさんできそうになるのをリセットしてくれる一冊です。

・次回⇒ デイサービス オアシス長瀬 / 看護師 藤木 千恵

## できる人は必ず持っている 一流の気ばり力 / 安田 正

### 老健 オアシス デイケア・ロング / 介護士 岡村 智子



「仕事は気ばりに始まり、気ばりに終わる。」  
介護サービスは介護保険制度に基づいて、国とご利用者から料金をいただいてサービスを提供しています。サービスを提供する上で重要な「ホスピタリティ」に関する「一流の気ばり力」についての本です。



気ばりに必要な5つの要素、「俯瞰する」「共感する」「論理を通す」「サービス精神を持つ」「尊重する」について詳しく書かれていて、それらを実践することで、互いにメリットを生み出し、自分自身に大きなメリットを連れて帰ってくる、と述べられています。

私達は介護のプロとして技術・知識は持っていて当たり前、その上で選ばれる施設として超一流のサービスを提供するために必要不可欠な事が書かれていると感じました。一度読んでいただきたいお薦めの本です。

・次回⇒ 老健 オアシス デイケア・ロング / 介護士 村田 あつ子

## コーヒーが冷めないうちに / 川口 俊和

### 特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 小田 拓弘



友人の紹介で手に取り、色々考えさせられる内容で、コーヒーが好きだったこともあり買ってみました。



登場するカフェに入ると、誰もが一度は思ったことがあるだろう「過去に戻る事が出来る」というのだが、戻るには様々な面倒なルールがあり、そして過去に戻って何をしても現実には変えられないという。

4章に分かれており、各章の登場人物はその面倒なルールがあっても、恋人に伝えなかった事を言い、記憶がなくなる前の夫に会って本当の気持ちを確認し、亡くなる前の妹に会って謝りたいことを伝えるために過去に戻り、そして娘を出産したら命の保証がないと申告された自分の娘に会いに未来へ向かう。

それぞれ辛い現実を変えることはできないが、捉え方を変えることで自分だけではなく、関わった人も前に進んでいける。

とても考えさせられる内容でほっこり温かくなります。心が疲れたと思った時にまた読みたいと思い、続編も発売されているので買って読みたいと思いました。とても読みやすく、コーヒーが飲みたくなります。

・次回⇒ 特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 永井 純子

## オアシス文庫 recommend



鳥類学者だからって、  
鳥が好きだと思ふなよ。  
／川上 和人

私も取り立てて鳥に興味がある訳ではありません。むしろ、食べる以外では、無いに近い…でも。たくさん笑い、たくさん「へえ〜」と感心しました。（随所にオヤジギャグが散りばめられているので、好き嫌いはあるかも知れませんが。）

鳥の生態や学名の由来、環境問題からジェームズ・ボンドのモデルへの言及、キョロちゃんの考察まで、鳥にまつわる色んな話が楽しく、真面目に語られます。

また、研究者の過酷なフィールドワークには驚き、感嘆します。感心しているのに、感嘆しているのに、そのコミカルな文章について笑ってしまいます。

元々著者は鳥に全く興味がなく、鳥の研究に就いたのもなりゆきでした。それでも、随所から鳥類研究に対する愛情ともとれるような熱意を感じます。

私たちも日々、ままならない事が多くあります。しかし、「こんな風」に物事に臨めば、なんだって（気がつけば）極めてしまうのではないのでしょうか。鳥に全く興味がない皆さん。是非、ご一読を。

(教育委員会 中島 美和子)

老健入り口の書棚「オアシス文庫」から貸し出せます▶



## 編集後記

明日の自分をひと味変えてくれる気配りの本、映画の原作本、そして4コマ漫画、フォトエッセイ、エッセイ漫画、お料理本、旅の本など初めてのジャンルがたくさん号!!

今号も原稿を拝見して、本当に幸せな気持ちになりました。ありがとうございます。

Group1 ⇒ “教育委員会” に【オアシス文庫／本棚（蔵書一覧）】があります。今後、より借りやすいシステムを模索してまいります。

読書の秋 🍁【本棚】を覗いてみてください。  
気になる一冊はありますか☆

